



研究キーワード

まちづくり, 担い手, 縮小社会, 共同性, 買い物支援

倉持 裕彌

KURAMOCHI, Hiromi

地域イノベーション研究センター副センター長
准教授

所属…経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻

Profile

■主な担当科目 地域経営論, 社会調査法, コミュニティ・ビジネス論

研究者略歴

1998 (平成10) 年 3月	立教大学社会学部社会学科卒業
2004 (平成16) 年 3月	立教大学大学院社会学研究科応用社会学専攻博士前期課程修了
2005 (平成17) 年 7月	財団法人とっとり政策総合研究センター着任
2012 (平成24) 年 4月	鳥取環境大学地域イノベーション研究センター講師
2014 (平成26) 年 4月	鳥取環境大学地域イノベーション研究センター准教授
2015 (平成27) 年 4月	公立鳥取環境大学経営学部准教授
2016 (平成28) 年 4月	鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻博士後期課程修了
2016 (平成28) 年 4月	公立鳥取環境大学大学院環境経営研究科経営学専攻准教授
2018 (平成30) 年 4月	公立鳥取環境大学地域イノベーション研究センター副センター長

Research

■取得学位 社会学修士 (立教大学), 博士 (工学) (鳥取大学)

■専門分野 地域社会学, コミュニティ・ビジネス論

■現在の研究テーマ
・過疎地におけるコミュニティビジネスに関する研究
・地域社会における人口減少による影響に関する研究
・買い物支援に関する研究

■所属学会 日本地域政策学会, 日本都市社会学会, 地域社会学会, 日本都市計画学会

■資格 専門社会調査士

Data

研究等活動

【著書】

・「地方創生のための経営学入門」(共著) 2019, 今井出版

【論文】

- ・「過疎地におけるコミュニティビジネスの継続性に関する考察」2022, 『日本地域政策研究』第28号
- ・「エリアマネジメントを活用した商店街の空き店舗対策に関する考察」2017, 『日本政策金融公庫論集』第35号
- ・「中山間地域における高齢者の買い物行動と健康維持に関する実証分析」(共著) 2015, 『都市計画論文集』第50回
- ・「官民の役割分担に着目した移動販売の持続可能性の改善に関する考察」(共著) 2015, 『運輸政策研究』第18号
- ・「中山間地域における買い物支援に関する考察 - 移動販売に着目して -」(共著) 2014, 『社会技術研究論文集』第11号
- ・「空き家を取り巻く諸問題 - 鳥取市・倉吉市空き家実態調査を通して -」2008, 『TORCレポート』, 31号
- ・「地域振興における担い手の活性化の条件 - 千葉県栄町商工会青年部の事例 -」2005, 『日本都市社会学会年報』, 第23号

【研究報告】

・「観光列車運行に関する事例研究 - 若桜鉄道のSL観光列車運行に向けて -」2013, 『鳥取環境大学紀要』, 第11号

【報告書】

- ・「中山間地域集落再生システム構築事業調査」2019年度, 2020年度, 鳥取県受託研究
- ・「持続的な『小さな拠点』のあり方と検討プロセスに係る研究」2016年度, 鳥取県受託研究
- ・「街なか空き家の実態調査と利活用の検討」2013, 鳥取市受託研究

【研究助成】

- ・「過疎地域において地域再生を支える新たな共同性の構築に関する研究」2022-2024, 科学研究費助成事業
- ・「鳥取県内商店街の活性化に資するテナントミックスに関する実証研究」2017, 鳥取県環境学術研究等振興事業
- ・「縮小社会における空き家問題への制度的対応の検討」2012, 鳥取県環境学術研究等振興事業

社会貢献活動

【委員等】

- ・鳥取市空家等対策協議会委員
- ・香美町空家等対策協議会委員
- ・岩美町総合戦略推進委員
- 等

空き家・空き店舗が地域社会に与える影響に関する研究、コミュニティ・ビジネスに関する研究



地域イノベーション研究センター 副センター長
経営学部 経営学科
大学院 環境経営研究科 経営学専攻
准教授

倉持 裕彌

KURAMOCHI, Hiromi

SDGs 関連項目



● 研究内容

地域社会を維持する仕組みに対する人口減少の影響について研究している。近年の主な研究テーマは2つある。一つは、空き家や空き店舗等が地域社会にどのような影響を及ぼすのか、について研究を進めている。これらの物件は、未利用（もしくは管理されない状態）であることによって、周囲の人々の生活や商売に悪影響を及ぼすことが直接的な問題である。場所によっては空き店舗が増えてもさほど問題にならない、という状況も現れてきている。もう一つは、コミュニティ・ビジネスに関する研究で、例えば買い物弱者対策などがある。人口減少が進むことで、様々な分野において従来のサービスが維持できなくなる可能性が高まり、その代替として新たなサービス供給のあり方が模索されている。過疎地の公共交通を支える自動運転バスのように技術的な議論も進みつつあるが、まずは丁寧な地域の実態調査と、それに基づく現行サービスの持続可能性の検証に取り組んでいる。

● 想定パートナー

自治体、地域協議会等、経済団体、商店街振興組合
小売業、不動産業

● 応用分野

空き家・空き店舗などの管理・利活用、買い物弱者対策事業など

● 取組実績

【企業、行政等との連携実績】

・鳥取県

持続的な「小さな拠点」のあり方と検討プロセスに係る研究

商店街の空き店舗を維持するための実証実験

・鳥取市

街なか空き家の実態調査と利活用の検討



空き店舗の利活用研究例